

平成30年度(2018年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部
1・ハード対策の主な取組																			
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																			
		①堤防整備等	クサンル川、頓別川、北見幌別川にて河川改修事業、タネトンナイ川にて砂防事業を実施。北見幌別川、オムロシュベツ川、頓別川、兵知安川にて河道内の伐開を実施した。			クサンル川の早期改修を要望した。								タネトンナイ川上流部砂防ダムの新設及び既存ダムと流水路堰堤の補強等の施工開始。					
■危機管理型ハード対策																			
		①堤防天端の保護	頓別川にて天端舗装工事を実施した。											頓別川の天端舗装工事を下流へ0.9km延長を要望した。					
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築	・防災訓練の場でスマホ版「川の防災情報」等について幅広く周知を行った。 ・スマホやタブレットを用いて迅速な防災対応を図るよう努めた。																
		②洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	プッシュ型の洪水予報等の情報発信について情報収集等を行った。																
		③高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより充実を図る。				緊急告知防災ラジオの中継局設備を整備した。	IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討した。	IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討した。	防災無線設備を整備中。	IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討した。	IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討した。	防災ラジオ等の整備を検討した。	IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討した。						
		④水防拠点の整備	北見幌別川(枝幸町下幌別地区)の資材ヤード整備実施に向けて予算要求を行った。																
		⑤水害リスクが高い箇所に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備	危機管理型水位計をクサンル川、北見幌別川ほか計5河川に設置した。																
		⑥迅速な水防活動を支援するための水防資機材の整備	水防資機材の点検、配備を行った。	関係機関の資機材保有状況を防災情報システムで共有した。		土のラステーションを整備、運用を行った。	消防団単位で資機材を配備した。	河川付近に資機材の配備を検討した。	救命ボート、救命胴衣、スローロープ、土のう等を配備した。	河川付近に資機材の配備を検討した。	資機材を整備した。	小型排水ポンプを整備、操作訓練実施を行った。							
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティFM等の様々な情報伝達手段の整備	関係機関と連絡体制を確認した。			緊急告知防災ラジオの中継局の整備を行った。	登録制配信メールの機能改善を行った。	多様な情報伝達手段の確保及び活用を検討した。	防災無線設備を整備中。	多様な情報伝達手段の確保及び活用を検討した。	多様な情報伝達手段の確保及び活用を検討した。	・多様な情報伝達手段の確保及び活用を検討した。 ・防災ラジオ等の整備を検討した。	多様な情報伝達手段の確保及び活用を検討した。						
		⑧避難場所の明確化(避難誘導のための看板設置等)に関する取組を行う				避難場所の看板を設置した。	避難場所の看板を設置した。	避難誘導看板を設置を検討した。	避難誘導看板を設置を検討した。	避難誘導看板を設置を検討した。	避難誘導看板を設置を検討した。	避難場所の見直しを行った。	避難誘導看板を設置した。						

平成30年度(2018年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部	
2.ソフト対策の主な取組																				
① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組																				
■情報伝達、避難計画等に関する事項																				
	①想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへの反映	浸水想定区域図(北見幌別川、オムロシュベツ川)を作成、提供、防災共通地図の作成した。				新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づく地域防災計画の見直し、精査した。	新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づく地域防災計画の見直し、精査した。	新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づく地域防災計画の見直し、精査した。				新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づく地域防災計画の見直し、精査した。								
	②道路管理者との連携により避難経路を検討	稚内建設管理部発注工事にかかる公道の通行止め情報を提供した。					避難場所の新規設置、避難行動マニュアルの検討を行った。	避難経路等の確認、再検討した。				避難経路等の確認、再検討した。	避難経路等の確認、再検討した。							
	③避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成および支援	水位周知河川沿川の自治体の水害対応タイムラインの作成を支援、試行運用を開始した。	国直轄河川の先行事例を情報提供した。	避難勧告着目型タイムラインの作成支援を行った。	避難勧告着目型タイムラインの作成支援を行った。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について検討した。							
	④タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	新たに作成した水害対応タイムラインを活用した洪水対応訓練を実施した。			タイムラインの精度向上に向けた作業の支援や避難訓練へ参画した。			タイムラインを活用した情報伝達訓練等の実施を行った。				タイムラインの作成に伴い訓練内容を検討した。	タイムラインを活用した情報伝達訓練等の実施を行った。							
	⑤各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について役場職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画の見直し	市町村における避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成を支援した。	市町村の防災会議に参加、計画策定について助言等を行った。	避難勧告の判断・伝達マニュアル、地域防災計画の見直しについて支援を行った。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しを検討した。	職員初動マニュアルを更新、地域防災計画更新案を作成中。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しについて検討した。							
	⑥農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	洪水対応訓練において、酪農地帯や要配慮者利用施設等の避難対策を含めた中で、課題と対応策について検討した。			要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促した。	酪農地帯や要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討した。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促した。	酪農地帯や要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討した。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促した。	酪農地帯や要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討した。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促した。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促した。	要配慮者利用施設等の状況を確認し、避難に関する取組の継続を促した。							
2.ソフト対策の主な取組																				
① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組																				
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項																				
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	・浸水想定区域図(北見幌別川、オムロシュベツ川)を作成、公表した。																		
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいたハザードマップの作成と周知	浸水想定区域図(北見幌別川、オムロシュベツ川)を作成、関係自治体に提供したほか、水位周知河川以外の道河川について氾濫危険区域図(計14河川)を作成、関係自治体に提供した。				新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づくハザードマップの検討を行った。				ハザードマップの作成を行った。			新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づくハザードマップの検討を行った。				H29に作成したハザードマップの住民周知を行った。			

平成30年度(2018年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部
		③想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまちごとハザードマップの作成と周知	ハザードマップ作成のための浸水想定区域図等を関係自治体に提供した。		ハザードマップ等の作成を支援した。			まごまちごとハザードマップ作成を検討した。		まごまちごとハザードマップ作成を検討した。		まごまちごとハザードマップ作成を検討した。	まごまちごとハザードマップの住民周知を行った。						
		④小学生を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	「一日防災学校」をH30年10月に礼文町、H30年11月に浜頓別町で実施した。	国直轄河川で先行している情報を入手し、防災教育に関する資料収集や情報提供を行った。	稚内市で開催された総合防災訓練において、防災気象情報の講話を行った。	関係機関と連携して啓発を行った。	各種防災教育情報を随時、教育委員会を通して提供した。	「一日防災学校」を実施、児童生徒に授業形式で防災教育を行った。	関係機関と連携して防災教育の実施を検討した。	「一日防災学校」を実施、児童生徒に授業形式で防災教育を行った。	関係機関と連携して防災教育の実施を検討した。	関係機関と連携して防災教育の実施を検討した。	関係機関と連携して防災教育の実施を検討した。	小中学校において避難訓練に合わせた防災講話を実施した。	小中学校において避難訓練に合わせた防災講話を実施した。	小中学校において避難訓練に合わせた防災講話を実施した。	小中学校において避難訓練に合わせた防災講話を実施した。	小中学校において避難訓練に合わせた防災講話を実施した。	小中学校において避難訓練に合わせた防災講話を実施した。
		⑤関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施	「宗谷防災講座」をH31年2月に開催、防災気象に関する講話を実施した。	・出前講座メニューに「防災の基礎知識と災害支援について」を登録した。・「宗谷防災講座」をH31年2月に開催、防災に関する講話を実施した。	「宗谷防災講座」をH31年2月に開催、防災気象に関する講話を実施した。	土のうステーションの周知や使い方など啓発を行った。	関係機関と連携して効果的な訓練を検討した。	関係機関と連携して効果的な訓練を検討した。	関係機関と連携して効果的な訓練を検討した。	関係機関と連携して効果的な訓練を検討した。	津波・地震を主対象とした避難訓練に水防を加えた防災教育を実施した。			住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	防災訓練への参加、協力を実施した。	防災訓練への参加、協力を実施した。	防災訓練への参加、協力を実施した。
		⑥防災無線やホームページ等を活用した住民の水防防災意識啓発のための広報の充実	開設済みの「ほっかいどうの防災教育」ポータルサイトについて、幅広く啓発を行った。	HP等を活用した情報提供により広報の充実を図った。		ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発を行った。	ミニ広報誌や各種イベント時に街頭啓発を行った。	ミニ広報誌や各種イベント時に街頭啓発を行った。	ミニ広報誌や各種イベント時に街頭啓発を行った。	関係機関と協力して対応した。	関係機関と協力して対応した。	関係機関と協力して対応した。

2・ソフト対策の主な取組
② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																			
①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	一部の重要水防箇所について点検・確認を行った。					出水期前に点検を行った。	水害リスクの可能性のある箇所について関係機関と情報共有を図った。												
②関係機関が連携した広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を実施	関係機関と連携し、風水害を想定した水防訓練を実施した。				土のうステーションの周知、使い方など啓発を行った。	関係機関、住民と連携した水防訓練を検討した。	各自治体等が主催する防災訓練へ参加した。												
③広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、迅速な水防活動を支援するため、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る	水防資機材の確保が必要な地域を自治体と検討した。	各事務所、道の駅などに配備している資機材の整備・補充した。			新たに土のうステーションを5箇所整備した。	資機材の充実を図った。	資機材の定期的な現況把握と情報共有を行った。												
④的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団(消防団)員数の確保を図る	消防庁の「消防団加入促進キャンペーン」期間(1~3月)にあわせて、市町村とともにポスターの掲示及び加入促進活動を行った。				消防団員の拡充を推進した。	消防団員の拡充について自治体と連携して取組を行った。													
⑤自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	災害派遣要請の調整方法を確認した。				災害派遣要請の調整方法を確認した。														
⑥水防団(消防団)間での連携、協力に関する検討					防災活動において近隣の消防団間で連携、協力を図った。														

平成30年度(2018年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部	
		⑦市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組を行う	市町村が実施する防災訓練(稚内市(10月))に、道の訓練担当職員を派遣し、企画等の支援を行った。		防災担当外の職員を含めた市町村職員研修会を実施した。	防災担当者を中心とした防災士資格取得の促進、非常時優先業務の選定を行った。	関係機関での研修参加や防災訓練、防災資機材の点検を通じた職員の防災力向上を図った。	関係機関での研修参加や防災訓練、防災資機材の点検を通じた職員の防災力向上を図った。	関係機関での研修参加や防災訓練、防災資機材の点検を通じた職員の防災力向上を図った。	関係機関での研修参加や防災訓練、防災資機材の点検を通じた職員の防災力向上を図った。	関係機関での研修参加や防災訓練、防災資機材の点検を通じた職員の防災力向上を図った。	関係機関での研修参加や防災訓練、防災資機材の点検を通じた職員の防災力向上を図った。		防災訓練等の取組へ参加した。	防災訓練等の取組へ参加した。	防災訓練等の取組へ参加した。	防災訓練等の取組へ参加した。	防災訓練等の取組へ参加した。	防災訓練等の取組へ参加した。	
		⑧市町村向け川の防災情報による河川水位や排水設備等情報の共有	水位周知河川に指定されていない河川で特に必要と認める河川(クサンル川)において、浸水想定及び河川水位等の情報を提供した。	河川水位の情報を「川の防災情報」HPを通じて公表、防災情報共有WANによる防災情報の共有を行った。	避難勧告の判断及び発令の目安となる流域雨量指数の予測値を元にした洪水注意報・警報・気象情報を発表した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。		市町村担当者との情報共有や連絡体制の確立を図った。	市町村担当者との情報共有や連絡体制の確立を図った。	市町村担当者との情報共有や連絡体制の確立を図った。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	「川の防災情報」により水位等の情報を取得、関係部署で共有した。	
		⑨想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	浸水想定区域図を関係自治体に提供した。																	

2・ソフト対策の主な取組
 ② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組

■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項																				
		①浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進																		
		②大規模工場等の自衛水防に係る取組の推進																		
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組																				
		①想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	氾濫域を考慮した排水計画検討のための資料収集等を行った。	各自治体のハザードマップを収集した。																
		②訓練を通じ、排水ポンプ車等の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	協議会において連絡方法等を確認した。	排水ポンプ車の操作訓練実施。派遣要請の手順や出動経費負担の考え方について各自治体と相互確認した。																
■要配慮者利用施設等の自衛水防の推進に関する取組																				
		①タイムラインを活用した要配慮者利用施設と連携した情報伝達訓練や避難訓練の検討及び要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援の検討	要配慮者利用施設に避難確保計画の作成等について周知、指導、助言等の支援を行った。																	
		②要配慮者利用施設等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	市町村の要配慮者利用施設等への浸水リスク説明、水害対策等の啓発活動を適宜支援した。																	

平成30年度(2018年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部
③ その他																			
■災害対応に関する事項																			
		①災害時及び災害復旧に対する支援強化	異常気象時において関係機関と情報共有を行った。	自治体とのホットライン(幹部・防災担当)構築、各防災機関との連絡体制確認、リエゾン派遣による情報収集等を行った。	災害発生時の市町村に特化した気象支援資料を提供、関係機関との情報共有を行った。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。
		②災害情報の共有体制の強化	「防災情報に関する打合せ会」を開催した。	防災情報に関する打合せ、宗谷防災講座等参加した。	「防災情報に関する打合せ会」を開催した。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。	協議会への参加と関係機関への情報提供等を行った。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。							